



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2014年9月①発行

国会議員と連携し、政府へ、要望。

8月26日、日本共産党市会議員団14人が揃って、倉林明子参議院議員を通じて、政府に対して、介護保険や国保の一元化問題、スクールソーシャルワーカーの充実について、発達障害児の支援、リニヤ新幹線についてなど、関係省の方に聞き取りと京都市の状況や要望を伝えに行きました。

介護保険では来春に大きな制度の変更がされようとしていますが、国が示すガイドラインをもとに、京都市が指針を策定するので、その指針にサービスの後退がないように、盛り込ませることが重要であることがわかりました。

スクールソーシャルワーカーの充実については、文科省は子どもの貧困対策として、位置付けていることがよくわかりました。予算化は財務省がどう判断するかが問題のようです。

リニヤ新幹線については改めて驚きました。京都市や京都府は東京大阪間のルートを奈良経由でなく、京都経由に変更してほしいと誘致活動をしています。それはかなり、困難であるということ。しかも、ほとんどがトンネルで、地下深く作る駅など、9兆300億円もの膨大な費用がかかります。必要でしょうか…。



前列右から2番目が文科省に対して発言資する玉本なるみ市議、3番目が井上参議院議員、左から4番目が倉林参議院議員

どんどん増え続ける軍事（防衛）予算

この時期は、各省庁が財務省に対して、来年度の予算を要求をしています。

なんと防衛省はついに5兆円の壁を越え、5兆545億円の膨大な概算予算を要望しています。

危険なオスプレイ配備費用やそのオスプレイなどを積んで戦地へ大量輸送を可能にする強襲揚陸艦導入の調査費用も初計上。民間フェリーを軍事利用するための委託制度にも着手する予算など、恐ろしい計画です。

「社会保障の財源確保」を口実に史上最大規模の消費税率8%への増税を国民に押し付ける中で、最新鋭兵器の相次ぐ導入や軍需産業などへの税制優遇措置、自衛官実員の大幅増などを要求する異常な軍事優先ぶりです。

つばやき：美輪明宏さん

現在、朝の連続ドラマのナレーター役の美輪さんは、戦争経験者です。先日NHK「ニュースウオッチ9」のインタビューで、「（知り合い）のさんちゃんが出征する日、列車が動き出す瞬間、お母さんが足元にしがみつき、『死ぬなよ』と。憲兵が襟首をつかみ、放り投げた。戦死したさんちゃんがこの世の最後に見たお母さんの姿は、乱暴され血だらけになった母親の姿だった」と話されました。

戦争体験者や芸能人など、発言力がある方の勇気ある発言に敬意を表します。

また、さんちゃんが血だらけの母親の姿を胸に死んでいったことへの締め付けられるような悲しみと怒りを感じます。こんなことにならないように今、頑張らないと！



アンテナ
私たちが敵で
怪物でした」



先日、共産党が発行する新聞赤旗の報道で、イラクからの米軍の即時無条件撤退やイラク国民への賠償などを求めて、2004年に反戦イラク帰還兵の会が発足され、活動されているのを知りました。

フセイン政権は大量破壊兵器を持っている」という誤った情報から始まったイラク戦争は、忘れもしません。2003年3月、次女の小学校の卒業式の日でした。

米軍が開始したアフガン戦争とイラク戦争での、米兵の死者は6800人。帰還兵の数は200万人超ですが、うち60万人が心的外傷後ストレス障害（PTSD）などを患っています。退役軍人の自殺は一日平均で22人になるとのことです。日本の自衛隊員も二つの戦争に後方支援という形で派兵され、40人の自殺使者があったと発表されています。

私はイラクでたくさんものを失いました。向こうに『敵』はいなかったんです。言うなれば私たちが敵で、私たちが怪物だったんです」と帰還兵士が語られています。自らの死の恐怖と罪のないうイラク国民を殺したことの罪に苦しんでおられるのです。

集団的自衛権の行使容認となれば、日本が同盟国のアメリカが起す戦争に参加し、同じような言葉を自衛隊員が、話すことになります。絶対に戦争参加させないために頑張りましょう！